

第25号

群馬県在宅保健師「さちの会」

# 会報 さち



設立25周年

【第2回研修会】  
講師を囲んで

## 会長挨拶

群馬県在宅保健師「さちの会」会長  
武政 礼子



会報「さち」第25号の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には長かったコロナ禍の行動制限がなくなり、「さちの会」の活動や地域のボランティア活動等にご活躍のことと思います。

令和6年度の「さちの会」の事業も、会員及び群馬県国民健康保険団体連合会事務局の皆様のご協力により推進できましたこと、心より感謝を申し上げます。

定期総会は、昨年同様に会員中心での開催になりましたが、国保連合会の長谷川事務局長よりご挨拶をいただきました。例年行ってまいりました視察研修は昨年度から提案されていた「国立ハンセン病療養所栗生楽泉園（草津町）において、歴史や入所者の生活、重い罰を与えたという「重監房」もその姿が再現されていて、映像や説明、見学により理解を深めることがで

きました。会員からは「参加してよかった」「何か私達にできる事はないか」等の声も聞こえてきました。

また、令和6年は新年早々能登地方が地震と津波に見舞われ大きな被害を受けました。復興までには多くの時間を要すると報道されています。その後、台風10号も広い地域に大雨による被害を出しました。今回、当県には大きな被害はありませんでしたが、令和元年8月20日付で制定している、「災害ボランティア実施要綱」が効果的に活用できるよう、関係機関や指導者との意見を交換しながら進めていく必要があるとの考えをあらためて深くしました。

会員の皆様には、可能な限り各事業へ参加していただき、ご希望と様々なご意見を賜りたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

## 令和6年度 群馬県在宅保健師「さちの会」総会

期日 令和6年5月15日（水）午後

場所 群馬県市町村会館

出席 18名

武政会長からの挨拶後、国保連合会長谷川事務局長からご挨拶いただきました。議決事項では、議長に植松みよさんを選出し、昨年度の事業及び決算の報告、今年度の事業計画及び予算案について承認を得ました。

総会終了後は、地区ブロック別懇談会で今年度のブロック活動について意見交換しました。



長谷川事務局長



総会の様子

## 群馬県在宅保健師「さちの会」第1回研修会

期日 令和6年5月15日（水）午後

場所 群馬県市町村会館

出席 18名

DVD視聴 令和5年度都道府県在宅保健師等全国連絡会送付DVD収録データ

- 「地域保健施策を取り巻く国の動向について」

厚生労働省健康・生活衛生局健康課

保健指導室 室長 五十嵐久美子氏

- 「青森県・石川県在宅保健師会の活動について」

青森県・石川県在宅保健師の会会長・会員

ブロック別懇談会



第1回研修会の様子

### 参加者感想

#### 第1回研修会に参加して

東毛ブロック 川島 佐枝子

青森、石川県の活動を学びました。青森は、会員と現職保健師が一堂に会し学ぶ目的で、ブロック別に研修会を開催。また役員会で認めた保健福祉活動の助成を21団体に継続中。特に2名の会員が、地元サロンで健康面から住民交流ま

で活動している報告には、パワーに驚くと同時に自分には無理！と思いました。石川県は多職種で構成され、特に看護職中心に活動している高齢者サロンが好評と報告がありました。両県の課題が、会員の高齢化と次の人材不足が大きいと聞き、群馬も同じだと実感しました。定年等退職後には、「さちの会」で楽しく元気に活動をと声を掛け、そのきっかけとして、現職との交流を大事にしていきたいと思います。

## 群馬県在宅保健師「さちの会」第2回研修会

期日 令和6年12月17日（火）午後  
場所 群馬県市町村会館  
出席 会員18名 市町村8名  
講演 「在宅保健師等による災害対応・市町村支援等について」  
講師 自治医科大学看護学部  
教授 春山 早苗氏



講師の春山氏



第2回研修会の様子

### 参加者感想

#### 第2回研修会に参加して

東毛ブロック 高橋 好美

昨年度、DVDによる講演も視聴しましたが、やはり直接お話を聞く方が理解できるように感じます。

災害支援は徐々にシステム化され、昨年1月の能登半島地震では様々なチームが支援に入ったと聞いています。

講演の最後に「はさみ状格差(回復の二極化)」

についての説明がありました。「被災地域の住民の格差感は時間経過と共に広がり続ける。回復する力のある者は、早々に生活再建し精神的にも立ち直っていくが、自主再建困難者は取り残され感を持ち、こころの不健康へと向かう」と。地域の保健活動に携わる保健師は忘れてならないことと印象に残りました。

## 視察研修会

期日 令和6年10月11日（金）  
場所 国立療養所栗生楽泉園「社会交流会館」  
「重監房資料館」  
出席 19名

社会交流会館は、入所者の生活に関する様々な資料が展示されていて、学芸員の方の説明を受けながら見学しました。

重監房資料館は、かつて園内にあった「重監房」と呼ばれていた「特別病室」が再現され、その中を歩いて見学することで、視覚的に体験しながらハンセン病問題の理解をより深めることができました。

また、移動のバスの中では、会長から手足や口腔の体操の紹介があり賑やかな時間を過ごしました。



社会交流会館見学の様子



社会交流会館前にて

※令和6年12月に「社会交流会館」は「栗生楽泉園歴史館」に名称変更されました。

## 参加者感想

### 視察研修に参加して

中・北毛ブロック 高山 陽子

緑の山々をくぐり抜け、細い山道の先にハンセン病療養所だった栗生楽泉園がありました。

現在、全国に14ヶ所療養所があり、その内のひとつとして群馬の寒冷地にある草津に設置されたハンセン病隔離施設として、社会の偏見と差別の中で数10年も過ごせざるを得なかった

人たち。今も40数名の方々の住まいがあり、直接にお目にかかれませんでした。買い物や通院、外出などはどのようにされているのかと思いました。

特に、ハンセン病の負の歴史を後世に語り継ぐ重監房資料館には、命の大切さ、人権尊重の精神を育む場所として存在しています。

この視察に対し、ハンセン病に対する思いが、各人述べられ、関心のほどが伝わってき、学ぶことが多い研修でありました。

### 視察研修後、楽泉園の担当の方にお聞きしました

- 通院は、楽泉園の他に原町日赤・群大附属病院等を受診するそうです。
- 買い物は楽泉園運行のバスが週に2回（草津町・長野原町往復）と、販売車（草津町にある商店・コンビニ）が週に1～2回来るそうです。
- サロンについては、理学療法士さんのリハビリや季節の行事があるとのこと。
- 入所している方の平均年齢は90.3歳、最高齢の方は101歳で日常生活はご自分でなさっているそうです。（事務局）

## ブロック活動報告

### 中・北毛ブロック活動

中・北毛ブロック世話人 佐々木 かほる

令和6年度は寸劇（健康劇）9回の上演予定です。依頼先は、いきいきサロン、長寿会などでした。



オープンガーデン見学

寸劇の演目は、転倒予防、減塩、認知症予防です。毎年依頼がある団体は演目をかえています。参加者が生活様式を見つめ直すきっかけになることを願って演じています。

今年度は、寸劇のシナリオの見直しが終わりましたので、5月に一泊研修会を持ちました。中之条町の「花と緑の人づくりまちづくり」を提唱している福田具可さん（86歳）のオープンガーデンを案内していただきました。表の道路沿いには鮮やかな赤色のポピー、裏山に珍しい山野草（エンレイソウ、シラユキゲシ、クリンソウなど）多種類見ることができ、福田さんの人と花を繋ぐ崇高な精神を感じました。夜は保健師活動の昔と今を語り合い楽しい一夜を過ごしました。

## コロナ後の活動から

西毛ブロック世話人 鈴木 いせ

コロナが5類に移行し1年が経過したとは言え、地区活動の立ち上がりも遅いため、年間の出勤は2～3回が限度との結果となりました。

健康劇は2回実施し、第1回は9月に安中市小俣地区集会所においてサロン活動に伺いました。内容は、昨年度の研修会で学んだ宮永先生の「認知症」について伝授いたしました。新しい情報もあり関心を持って聞いていただけました。参加者の皆さんと新しい手遊びを入れて和やかなひとときを過ごすことができました。第2回は、3月の高崎市中居公民館のサロンで行い、「音読」を取り入れた新しい試みとなりました。

2月には施設見学を実施しました。富岡市子育て健康プラザは赤ちゃんから大人まで安心して利用できる子育て・健康交流の場として本格的に動き出しています。併せて母子保健業務について説明していただきました。



富岡市子育て健康プラザ見学

時の流れの中でも変わらない事業、更に進む少子化に対する取組等、現役時代を思い出し質問や意見も沢山出て充実した交流時間となりました。

やっぱり保健師の軸足は現場にあると再認識いたしました。

## 地域の住宅型有料老人ホームやデイサービス施設を見学してきました

東毛ブロック世話人 尾池 政江

真夏の暑い日でしたが施設見学を行いました。みどり市笠懸町に令和6年3月にオープンした住宅型有料老人ホームです。すべて個室で27床がほぼ満室のようでした。施設にはデイサービスも併設されており入所者の中で希望者が利用しているほか、外部からの利用者もいら

っしゃるとのことでした。

施設の方針としてパンフレットの中には「最後までわがままに生きる」をお手伝いしますと掲げてあり、利用者と家族が本当に幸せな選択だったと感じていただけるように務めているということでした。

この施設の運営は「チームアール」という株式会社で、運動特化型デイサービスの他にいくつかのデイサービスも運営しており、住み慣れた地域、在宅で長く元気に過ごせる支援を行い「明日もまた行きたくなる場所」を目指していると話してくれました。

施設見学後の感想として介護の問題は他人事ではなく誰もの共通の問題であり、まずは健康維持のために今できることを実践していくことが課題であると実感するとともに最後まで自分らしく過ごせる場所が大事だと思いました。今後、第2弾として、令和5年9月にオープンした地域密着型デイサービスで、野菜栽培を楽しみながら運動できるユニークな取り組みをしている施設があるので見学を計画しています。



デイサービス のんびり農園日和 前にて



## 設立25周年に寄せて

### さちの会25周年によせて思い出

中・北毛ブロック 新井 静江

私がさちの会の会員になったのは平成16年4月からでした。さちの会の発足から4年目翌年5周年の記念行事には厚生年金会館で関係機関の来賓の方々を迎え盛大な祝賀会が行われました。国保連合会からさちの会への依頼で神流町でのわが地区での地区サロンの紹介や玉村町の未受診者訪問、草津町での多受診者訪問では徐々に保健師の仕事をさせていただいた思い出でした。草津町では草津町音楽アカデミーの時期で、天皇皇后両陛下のお帰りの時にあい地域の人たちと沿道で御見送りをすることが出来よき思い出です。数年後にはブロック体制になり、健康劇の活動に取り組みました。シナリオの検討、小道具の作成、パネル作成、おみやげ作り等集まっていた作業は徐々に仕上がっていく達成感に喜びを感じたものです。地域での活動では人々との交流の場で激励されたり感謝されたりと、保健師としての充実感を味わうことが多々あります。さちの会の醍醐味かもしれません。

### 微力ながらも地域活動を！

西毛ブロック 松本 勝代

さちの会が発足25周年を迎え、四半世紀になったのかと感慨深いです。平成19年度から県内4ブロックに分けた活動が開始されました。西毛ブロックに所属していた私は、健康劇をやっていきたく提案し、皆様の賛同を得て実施することになりました。自作のシナリオを作成し、配役を決め、練習して臨みました。上演会場は、各地域で行われている高齢者サロンにお声を掛けました。会員の熱演で何処の会場でも笑い声あり、また内容がためになったと好評でした。しかしコロナ蔓延により活動は中止となりました。この間熱演してくださった方々がお亡くなりになり、また新しく会員になった方も行事には出席できず健康劇はやれなくなってしまいました。それでもサロンからお声が掛かり、3～4人で健康講話、手遊び、軽い運動を実施し、喜ばれておりますので、これからも続けていければと思っています。



### 「さちの会」が支える地域活動

西毛ブロック 杉山 友江

先輩を見習って「さちの会」に入会。県内から参加する会員と学習や視察研修で、中越・東日本大震災・日航機事故などの大災害の現地関係者の話や体験を研修できたことは有意義でした。最近では明和町の「人々の暮らしと健康を守る」行政の姿勢、特に職員の姿に感動し、現役世代を思い出しました。私は現在、地域の人たちと共に行動することが大切との思いから地域活動に参加しています。「村づくり」の会員になり毎年ひまわりを育て、10月にはひまわり祭り、春と秋、女性部で昔ながらの伝統食「母ちゃんの蒸かし饅頭」を作り販売しています。餡と高菜で、とても好評です。女性部の会員は25名です。年長の私はあまり前に出ずいつも後ろで頑張っています。頑張れる源は「さちの会」での学習会です。今は皆さんのお陰で元気に80歳になれる喜びとこの会を支えた皆さんへの感謝で一杯です。昨年発足した地域防災組織の一員として、今年も頑張ります。



## 特定保健指導利用勧奨事業

この事業は、特定保健指導の実施率向上を目指し、国保連合会から委託を受けて「さちの会」会員が市町村へ行き、特定保健指導対象者へ電話による利用勧奨を行うもので平成30年度から実施しています。

今年度は、川場村、甘楽町、板倉町、沼田市の4保険者で要請があり実施しました。

実施市町村	川場村	甘楽町	板倉町	沼田市
実施期間	令和6年10月7日、15日	令和6年10月22日、24日	令和6年10月23日、25日、11月20日、12月6日	令和6年11月7日、12月5日、10日、令和7年1月15日
派遣会員数	1名	1名	2名	2名
対象者	令和6年度特定健診で特定保健指導の対象となった方の内15名	令和6年度特定健診で特定保健指導の対象となった方の内18名	令和6年度特定健診で特定保健指導の対象となった方の内142名	令和6年度特定健診で特定保健指導の対象となった方の内65名
総架電数	36回	34回	256回	90回

### 会員の感想

#### 中・北毛ブロック 植松 みよ

10月に川場村及び甘楽町で特定保健指導利用勧奨事業の業務を2日間ずつ、11月～1月に沼田市で4日間行いました。川場村役場においては新庁舎2階の会議室で1人で架電し、他の市町では健康課内で架電しました。事前資料と当日の打ち合わせをしっかりと行いましたのでスムーズに電話をかけられました。

対象者は働いている人が多く数回架電して繋がる人もいましたが、留守電或いは応答なしの人もいました。対象者には事前に保健指導案内の通知が送られていたので開封している人には話が通じましたが、開封していない人や開

封しても余り記憶にない人もいたため説明することがありました。

平日働いている人が多く日程を決めて

受けることに抵抗があるのか町村では1人しか相談に繋げることができませんでした。ただ健康に対する意識付けにはなったと信じています。ご協力下さった職員の方々には心から感謝いたします。



川場村にて勧奨の様子

## 新入会員紹介

#### 東毛ブロック 高橋 美砂子

この度、さちの会のお仲間に入れていただき大変嬉しく思っています。私は群馬県で行政保健師として働いたのはわずか4年間です。その後は東京や千葉で3人の子育ての傍ら保健師を細々と続けていました。群馬に帰れる日がくるなんて思っていませんでしたが夫の転勤先が群馬県となり、24年前に帰ってきました。帰郷後は福祉教育と看護教育に携わり20年余、定年後2年間の再任用を経て、今日に至りました。看護教育に従事していた時には群馬の保健師さんらに大変お世話になりました。実習指導にご協力いただき、長年の経験知と温かい人柄で、学生に保健師の魅力を沢山伝えていただきました。実習の経験から保健師を目指し現在活躍している卒業生もいます。先輩保健師の皆様のご支援に心から感謝していますし、私も見習いたいと思っています。第一線から退き、肩の荷も下り軽くなり時間もできましたがなかなか次なる一歩が踏み出せない昨今です。社会のお役に立てることがあればしたいと思っています。よろしく申し上げます。



## その他の在宅保健師会活動関連

### 都道府県在宅保健師等会全国連絡会

令和7年2月にDVD等の動画配信及び資料のデータ送付により都道府県在宅保健師等会全国連絡会が開催されました。内容は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する講演

と、秋田県、和歌山県、愛媛県の在宅保健師等会の事例発表となっています。

視聴希望の会員は、ぜひ事務局までご連絡ください。また、令和7年度第1回研修会でも視聴予定となっております。

#### お知らせ

#### 令和7年度総会・第1回研修会（予定）

日時：令和7年5月21日（水）午後1時30分～午後4時

場所：市町村会館 5階501研修室

多くの会員の皆様のご出席をお願いします

### 令和5・6年度役員及び世話人

2年間お世話になりました。

会長	武政 礼子	世話人	佐々木 かほる
副会長	土屋 和子		鬼形 イシ子
副会長	丸山 律子(事務局)		鈴木 いせ
幹事	高山 陽子		尾池 政江
幹事	市毛 千鶴子		
幹事	川島 佐枝子		
幹事	高橋 好美		



### 令和6年度「さちの会」会員

総数 49名

内訳 中・北毛ブロック 23名  
西毛ブロック 8名  
東毛ブロック 18名

### 群馬県在宅保健師「さちの会」年齢構成

平均年齢 72.6歳

年代	人数(人)
40歳代	1
50歳代	3
60歳代	9
70歳代	28
80歳以上	8
合計	49



### 会員募集

### 新しく入会してくださる方を随時募集しています。

保健師の資格をお持ちの方で、在家庭や非正規雇用などの方をご紹介ください。お問い合わせは事務局まで。お待ちしております。

### 群馬県在宅保健師「さちの会」会報さち 第25号

発行 令和7年3月  
発行人 武政 礼子  
事務局 群馬県国民健康保険団体連合会  
保健事業課  
〒371-0846 前橋市元総社町335-8  
(群馬県市町村会館内)  
電話 027-290-1325  
FAX 027-254-3289  
E-mail hoken@gunmakokuho.or.jp

### 編集後記

今年度は、「さちの会」設立25周年の節目の年となりました。本号では、各ブロックで活躍されている会員3名の方々から、現在の活動状況などメッセージをお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様、お忙しいなかご寄稿いただきありがとうございます。皆様の声をこれからの活動の力にしたいと思います。

また、昨年12月に発足当時の会長の小川幸子さんが逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。(事務局一同)